

報道関係者各位

2025 年 2 月 20 日
阪神化成工業株式会社

企業献血 40 周年 累計 2,485 人が参加

人々の生命や健康を支える企業として献血でも社会貢献

献血は自身の健康の目安にもなるという声も

「医薬品容器製造を基軸に、高品質の製品供給を通じて、人々の健康的な生活を支える」をビジョンに掲げる阪神グループの阪神化成工業株式会社（本社：富山県富山市、代表取締役：高田 健、以下「当社」）は、2025 年 3 月 6 日に、本社にて企業献血を実施いたします。



本社ビル前で待機する富山県赤十字血液センターの献血バス

■1985 年から 40 年間続く企業献血 ボランティア活動として参加する従業員も

当社は 1920 年に富山県で創業して以来、100 年以上にわたり、ガラス瓶、プラスチック容器を中心とした包装資材を供給してまいりました。現在は医薬品・医療用容器、キャップ等の製造販売、各種プラスチック容器を主として事業展開を行っています。プラスチック製造の企業は国内にも多くありますが、当社は医薬品向けに特化した製品の製造・販売を行っており、業界第 2 位のシェアを占めています。

当社が企業献血を始めたきっかけは 1985 年に遡ります。現会長ら（高田順一）が所属していたボランティア団体が取り組んでいた社会貢献活動のひとつに献血があったことから、当社も 1985 年 3 月より企業献血を開始しました。当社の企業献血は夏と冬、年に 2 回の頻度で行っており、今年で 40 周年となり

ます。これまで累計 2,485 人が献血に参加し、血液の安定供給に貢献しています。

<献血に参加した従業員のコメント>

●普段ボランティア活動に参加する機会がないので、年 2 回の献血で少しでも社会貢献できればという思いで参加しています。

●献血を続けている理由としては、健康管理という側面が強いです。血液比重が足りなくて出来ないこともあります。が、「献血が出来る、すなわち人に血を分けられるくらい元気」というように、自身の健康の目安にもしています。

●献血を始めたのが高校生で、定期的に学校が献血活動をしていたので、習慣になっていると思います。社会人になってからは献血の機会が薄れ、免許証の更新時に献血する程度となってしまっていました。しかし当社に入社してからは、また献血の機会があり今に至ります。また、献血する回数が多い先輩からも良い影響を受けていると感じます。

<受賞歴>

1990年5月 銀色有功章（日本赤十字社）

2003年6月 金色有功章（日本赤十字社）

2007年7月 富山県知事感謝状

2011年7月 厚生労働大臣感謝状

今後も当社では、人々の生命や健康を支える生命関連産業で事業を行っていることをしっかりと心に刻み、献血を社会貢献の一つとして継続していきたいと考えています。

■実施概要

実施日： 2025年3月6日(木) 14:00～16:30

対象： 阪神グループの従業員（阪神ホールディングス株式会社、阪神容器株式会社、阪神化成工業株式会社、ファーマパック株式会社）

実施場所： 本社ビル前 富山県赤十字血液センターの献血バス

実施方法： 本館ビル1階ロビーにて受付後、ビル前バス内で献血を実施



■会社概要

- 【社名】 阪神化成工業株式会社（阪神グループ）
【設立】 1920 年
【代表】 代表取締役 高田 健
【住所】 富山県富山市小中 163 番地
【事業内容】 プラスチック容器製造、医薬品製造業
【URL】 <https://www.hanshin-group.co.jp/>

<阪神グループ>

- 1) 阪神ホールディングス株式会社（グループ統括）
- 2) 阪神容器株式会社（医薬品容器販売）
- 3) 阪神化成工業株式会社（医薬品・医療用プラスチック容器を中心とした各種プラスチック用品の製造・販売）
- 4) ファーマパック株式会社（成形充填システムによる医薬品等の受託製造）

<阪神グループの SDGs について>

<https://www.hanshin-group.co.jp/sustainable/sdgs.html>

阪神グループは「阪神グループSDGs宣言」に基づき、事業活動を通じて、「商品・サービス」、「環境」、「人権・働きがい」、「地域・社会貢献」を4つの柱として持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。



<報道関係・各種サービスに関するお問い合わせ先>

阪神化成工業株式会社

TEL：076-429-1865（携帯：070-2253-2058） E-Mail：yu-ueda@hanshin-group.co.jp

担当：上田